

**西和賀町**  
**高齢者実態調査結果報告書**

平成 29 年 3 月

岩手県 西和賀町



# 目 次

<b>第1章 調査の実施概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
(1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査.....	3
(2) 在宅介護実態調査.....	4
3 電算処理および報告書の記載方法.....	4
(1) 電算処理.....	4
(2) 報告書の記載方法.....	4
4 調査票の配布と回答状況.....	5
(1) 有効回答者数と有効回答率.....	5
(2) 有効回答者の年齢階級別の状況.....	6
(3) 有効回答者の属性.....	7
5 地域課題のまとめ.....	8
(1) 「湯田圏域」の課題.....	9
(2) 「沢内圏域」の課題.....	10
<b>第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果</b> .....	<b>15</b>
1 あなたのご家族や生活状況について.....	15
(1) 家族構成及び昼間独居者の状況.....	15
(2) 日常生活における介護（介助）の有無.....	16
(3) 現在の経済状況.....	19
(4) 現在の居住環境.....	19
2 からだを動かすことについて.....	21
(1) 運動機能の状況.....	21
(2) 外出の状況.....	24
3 食べることについて.....	30
(1) 現在の肥満（BMI）状況.....	30
(2) 歯・口腔の状況.....	31
(3) 食事の状況.....	34

4	毎日の生活について .....	36
	（1）I ADL（手段的自立度）の状況 .....	36
	（2）社会参加（知的能動性）の状況 .....	39
	（3）社会参加（社会的役割）の状況 .....	41
	（4）こころの健康状態 .....	43
	（5）物忘れの状況 .....	45
5	地域での活動について .....	49
	（1）グループ活動等の状況 .....	49
	（2）地域づくりに対する参加意向 .....	50
	（3）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの .....	52
6	たすけあいについて .....	53
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手 .....	53
	（2）友人・知人との交流状況 .....	55
7	健康について .....	57
	（1）健康状態 .....	57
	（2）疾病と喫煙や飲酒の関係 .....	58
	（3）通院の状況 .....	60
8	今後の生活について .....	61
	（1）今後の生活について .....	61

### 第3章 在宅介護実態調査結果.....67

1	ご本人（要介護者）の状況について .....	67
	（1）要介護者の要介護度 .....	67
	（2）要介護者の世帯状況 .....	67
	（3）家族・親族による介護の頻度 .....	68
2	主な介護者等の状況（属性等）について .....	70
	（1）主な介護者の状況 .....	70
	（2）主な介護者の介護実態 .....	71
	（3）家族介護のために離職した状況 .....	72
3	支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて .....	75
	（1）在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス .....	75
	（2）介護保険サービスの利用状況 .....	79
	（3）訪問診療の利用状況 .....	81
4	主な介護者の就労状況について .....	83
	（1）主な介護者の勤務形態 .....	83
	（2）継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向 .....	83

5	介護生活が続ける際の不安や困りごと	85
	(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容	85
6	介護離職の要因について	86
	(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等	86
	(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境	90
	(3) 要介護者の様態と介護実態	94
	(4) 介護給付サービス等の利用状況	95

#### 第4章 日常生活圏域別地域分析 .....99

1	“5つの高齢者像”からみた地域分析	100
2	介護予防・日常生活支援総合事業に関するニーズ	102
	(1) 介護予防事業対象者数の予測とニーズ算出	102
	(2) リスクに該当する高齢者数の予測とニーズ算出	104
	(3) 生活支援事業対象者数の予測とニーズ算出	108
	(4) 生活支援を担う元気高齢者の支援	110
3	認知症高齢者対策に関するニーズ算出	112
	(1) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者数の状況	112
4	在宅医療・介護の推進	114
	(1) 要介護者の状況	114
	(2) 在宅医療に関するニーズ	115
	(3) 訪問診療の利用状況	116
5	介護離職の要因と問題軽減	117
	(1) 家族介護者の介護離職の状況	117
	(2) 家族介護者の介護状況	118
	(3) 介護給付サービス利用状況	120
6	住まいのニーズ	121
	(1) 要介護者の施設入所意向	121
7	地域資源等の把握	123
	(1) 地域活動への参加状況	123
	(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの(サービス)	125
	(3) 社会参加と生きがい	127
8	高齢者の公共交通機関の利用状況	130
9	健康について	132
	(1) 高齢者の健康感や幸福感	132
	(2) 誰かとともに食事をする頻度	134

資料編	139
1 電算処理の判定条件等	139
2 アンケート調査票	145
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	145
(2) 在宅介護実態調査	152

# 第1章

## 調査の実施概要





## 第1章 調査の実施概要

### 1 調査の目的

「西和賀町第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討する必要があります。

本調査は、上記計画策定に必要となる将来推計の基礎資料を得ることを目的としています。

### 2 調査の内容

#### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護状態になる前的高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施することにより、地域包括ケアシステム構築のための地域課題の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	平成28年12月1日現在、西和賀町に居住する65歳以上の一般高齢者及び要支援1・2認定者（要介護1～5認定者を除く）2,163人を無作為抽出	2,163人
調査方法	平成29年1月27日～平成29年2月27日、対象者へ郵送にて調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	9設問
	2 からだを動かすことについて	14設問
	3 食べることについて	11設問
	4 毎日の生活について	25設問
	5 地域での活動について	4設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	9設問
	8 今後の生活について	3設問
	設問数合計	

※調査票は資料編に掲載しています。

## (2) 在宅介護実態調査

介護する家族に対するアンケートを実施し、「地域包括ケアの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」などのニーズ把握をするとともに、介護給付サービスをはじめ各種類の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	平成28年12月1日現在、西和賀町に居住する65歳以上の要介護1～5認定者349人を無作為抽出	349人
調査方法	平成29年1月27日～平成29年2月27日、対象者へ郵送にて調査	
調査票の設計	1 ご本人（要介護者）の状況について	2設問
	2 主な介護者等の状況（属性等）について	5設問
	3 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて	7設問
	4 主な介護者の就労状況について	4設問
	5 介護生活を続ける際の不安や困りごと	1設問
	6 その他	1設問
	設問数合計	

※調査票は資料編に掲載しています。

## 3 電算処理および報告書の記載方法

### (1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像（元気高齢者、一般高齢者、介護予防事業対象者、生活支援事業対象者）の設定条件や、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能の低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

### (2) 報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、テーマごとに関連する設問を集約し分析を行っているため、調査票の設問番号順になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳階級別に記載していない場合や、年齢と関係なく病気や障害の要因で悪化していることが多い要支援者は記載していない場合があります。

報告書に記載している用語について、「一般高齢者」は要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」、要介護認定者は「要介護者」として略称を用いています。

## 4 調査票の配布と回答状況

### (1) 有効回答者数と有効回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

地区名	調査対象者数 (人)	調査票の配布数 (人)	有効回答数 (人)	有効回答率 (%)
町全域	2,313	2,163	1,780	82.3
湯田圏域	1,167	1,067	865	81.1
沢内圏域	1,146	1,096	915	83.5

(注) 回収した調査票の中に無効回答者が1人いました。

表 1.2 在宅介護実態調査の回答状況

地区名	調査対象者数 (人)	調査票の配布数 (人)	有効回答数 (人)	有効回答率 (%)
町全域	452	349	293	84.0
湯田圏域	224	176	150	85.2
沢内圏域	228	173	143	82.7

(注) 回収した調査票の中に無効回答者が5人いました。  
また、認定ソフト2009と突合できない方が9人いました。

## (2) 有効回答者の年齢階級別の状況

表 1.3 町全域の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	1,688	201	142	158	145	68	6	208	213	232	208	100	7
	100.0	11.9	8.4	9.4	8.6	4.0	0.4	12.3	12.6	13.7	12.3	5.9	0.4
ニーズ調査 (要支援者)	92	4	0	1	7	8	2	0	1	8	28	29	4
	100.0	4.3	0.0	1.1	7.6	8.7	2.2	0.0	1.1	8.7	30.4	31.5	4.3
在宅介護 実態調査 (要介護者)	293	12	6	11	20	21	26	7	8	11	37	54	80
	100.0	4.1	2.0	3.8	6.8	7.2	8.9	2.4	2.7	3.8	12.6	18.4	27.3

表 1.4 「湯田圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	813	97	71	68	71	32	5	106	99	105	104	51	4
	100.0	11.9	8.7	8.4	8.7	3.9	0.6	13.0	12.2	12.9	12.8	6.3	0.5
ニーズ調査 (要支援者)	52	3	0	0	4	6	1	0	0	6	16	13	3
	100.0	5.8	0.0	0.0	7.7	11.5	1.9	0.0	0.0	11.5	30.8	25.0	5.8
在宅介護 実態調査 (要介護者)	150	7	2	4	12	10	14	4	4	4	26	28	35
	100.0	4.7	1.3	2.7	8.0	6.7	9.3	2.7	2.7	2.7	17.3	18.7	23.3

表 1.5 「沢内圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者

単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	875	104	71	90	74	36	1	102	114	127	104	49	3
	100.0	11.9	8.1	10.3	8.5	4.1	0.1	11.7	13.0	14.5	11.9	5.6	0.3
ニーズ調査 (要支援者)	40	1	0	1	3	2	1	0	1	2	12	16	1
	100.0	2.5	0.0	2.5	7.5	5.0	2.5	0.0	2.5	5.0	30.0	40.0	2.5
在宅介護 実態調査 (要介護者)	143	5	4	7	8	11	12	3	4	7	11	26	45
	100.0	3.5	2.8	4.9	5.6	7.7	8.4	2.1	2.8	4.9	7.7	18.2	31.5

### (3) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

#### ① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図 1.1 回答者区分

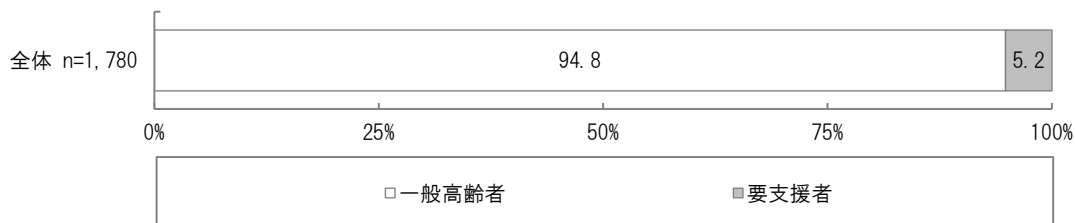
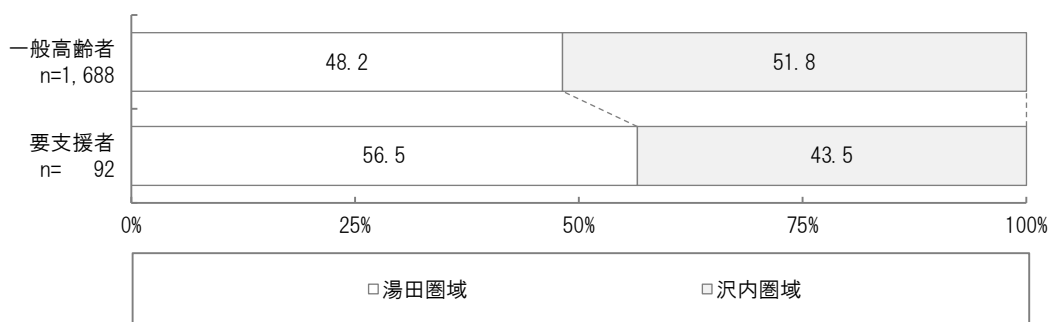
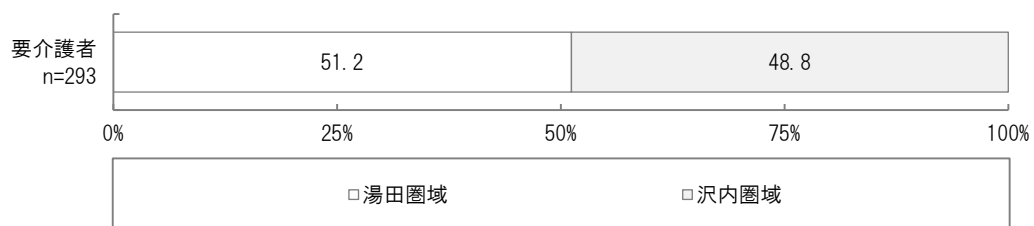


図 1.2 日常生活圏域別回答者割合

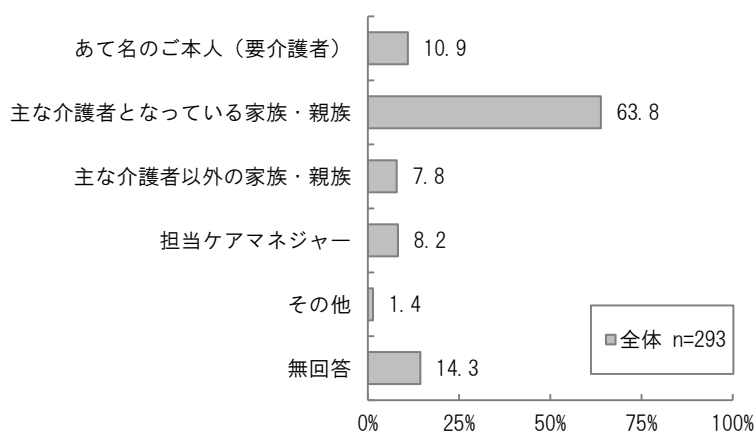


#### ② 在宅介護実態調査

図 1.3 日常生活圏域別回答者割合



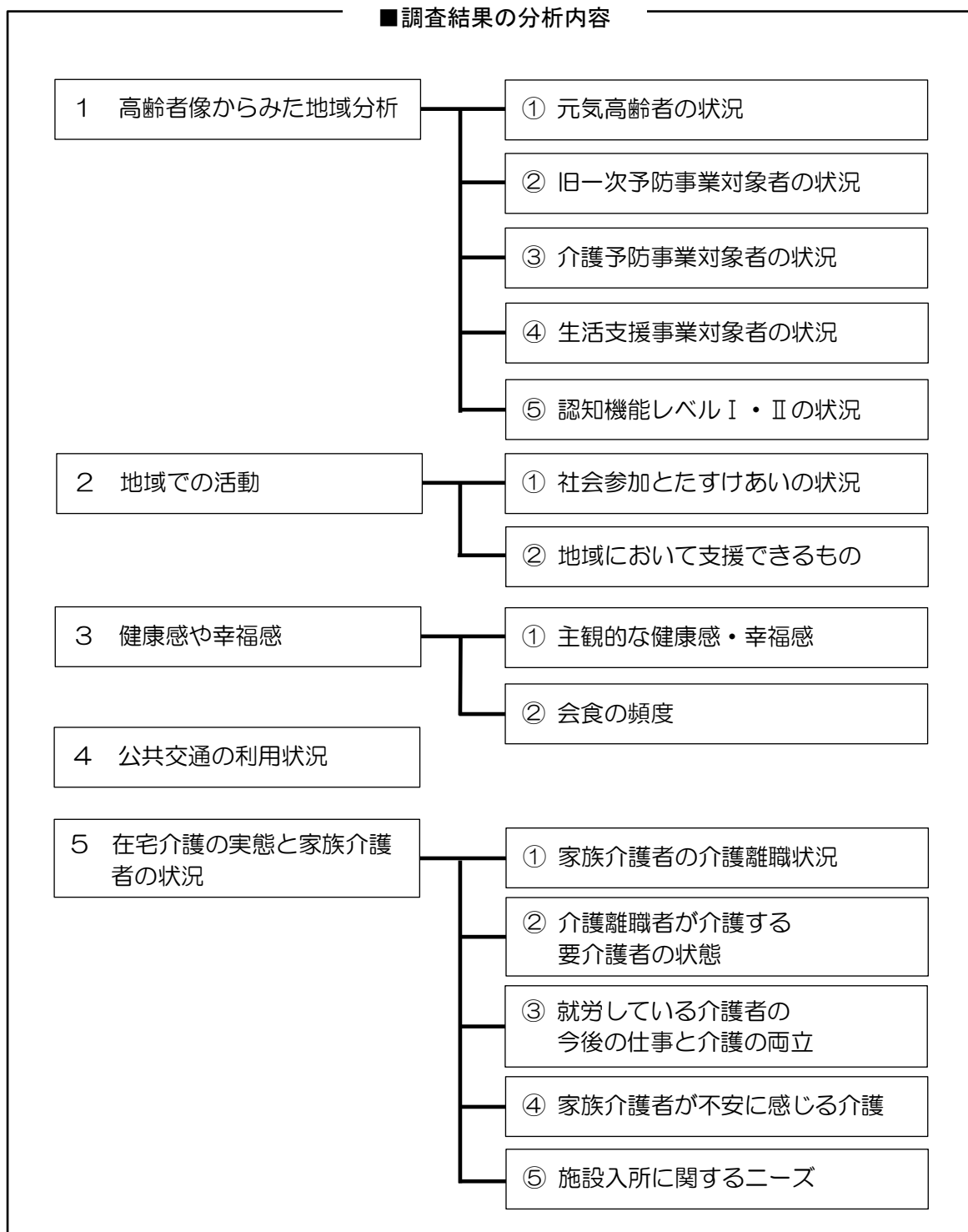
#### 問 A 調査回答者



## 5 地域課題のまとめ

本町の地域課題の抽出にあたっては、調査結果から町平均値を算出し、2つの圏域の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値等の分析項目を抽出し、町平均値との差異を記載しています。

それぞれの分析項目に対しては、各圏域が町平均値までに改善またはそれ以上に改善ができるための施策を検討できる調査報告書として作成しました。



## (1) 「湯田圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の状況	○出現率が町平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○1人当たりの元気高齢者が担う際の生活支援事業対象者数は、町平均人数より6.3人多い。
	旧一次予防事業対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護予防事業対象者の状況	○要支援者の出現率が町平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が町平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「低栄養の傾向リスク者」の出現率が町平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が町平均値より0.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より1.0 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「うつ傾向リスク者」の出現率が町平均値より0.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業対象者の状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が町平均値より2.1・2.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	認知機能レベルI・IIの状況	○特に課題等は見当たりません。
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	○要支援者で地域づくりに対して世話役としての意向割合が町平均値より1.5 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が町平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「趣味関係のグループ」への参加率が町平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「学習・教育サークル」への参加率が町平均値より0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者で「老人クラブ」への参加率が町平均値より2.4 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「町内会・自治会」への参加率が町平均値より1.1・0.3 <sup>ポイント</sup> 低い。 ○要支援者で「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人がいない」方が町平均値より0.4 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人がいない」方が町平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が町平均値より0.6・2.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしあげる人がいない」方が町平均値より0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
	地域において 支援できるもの	○地域住民（一般高齢者）が行う「配食の手伝い」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「外出時の送迎」に関する支援割合は町平均値より低い。 ○地域住民（要支援者）が行う「配食の手伝い」「調理」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」「ゴミ出

		し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」「外出時の送迎」に関する支援割合は町平均値より低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○要支援者の主観的幸福感の平均点数は町平均点より0.1点低い。
	会食の頻度	○一般高齢者と要支援者ともに「どなたかと食事をともにすることがほとんどない」方の割合は町平均値より0.8・0.1 <sup>ポイント</sup> 高い。
公共交通の利用状況		○特に課題等は見当たりません。
在宅介護の 実態と家族 介護者の状況	家族介護者の 介護離職状況	○介護離職者の出現率は町平均値より1.9 <sup>ポイント</sup> 高い。
	介護離職者が 介護する 要介護者の状態	○「その他世帯」は町全域より13.6 <sup>ポイント</sup> 多い。
	就労している 介護者の今後の 仕事と介護の両立	○特に課題等は見当たりません。
	家族介護者が 不安を感じる介護	○介護離職者が行う身体介護では「入浴・洗身」「衣服の着脱」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に不安を感じる割合が町平均値より高い。 ○継続就労者が行う身体介護では「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「外出の付き添い、送迎等」に不安を感じる割合が町平均値より高い。
	施設入所に 関するニーズ	○施設等への入所・入居を検討及び予定をしている割合は町平均値より1.8 <sup>ポイント</sup> 高い

## （２）「沢内圏域」の課題

調査結果分析		主な課題
高齢者像から みた地域分析	元気高齢者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	旧一次予防事業 対象者の状況	○出現率が町平均値より2.6 <sup>ポイント</sup> 低い。
	介護予防事業 対象者の状況	○一般高齢者の出現率が町平均値より1.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が町平均値より8.3 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者と要支援者ともに「口腔機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より0.9・4.1 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が町平均値より4.5 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「認知機能の低下リスク者」の出現率が町平均値より3.2 <sup>ポイント</sup> 高い。 ○一般高齢者で「うつ傾向リスク者」の出現率が町平均値より0.2 <sup>ポイント</sup> 高い。
	生活支援事業 対象者の状況	○特に課題等は見当たりません。
	認知機能レベル Ⅰ・Ⅱの状況	○一般高齢者と要支援者ともに出現率が町平均値より3.2・9.7 <sup>ポイント</sup> 高い。



地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般高齢者と要支援者ともに地域づくりに対して参加者としての意向割合が町平均値より0.5・3.3<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者で地域づくりに対して世話役としての意向割合が町平均値より2.1<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者と要支援者ともに「ボランティアのグループ」への参加率が町平均値より0.3・0.8<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者で「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率が町平均値より0.6<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者で「趣味関係のグループ」への参加率が町平均値より1.6<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者で「学習・教養サークル」への参加率が町平均値より0.3<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○要支援者で「老人クラブ」への参加率が町平均値より1.5<sup>ポイント</sup>低い。</li> <li>○一般高齢者の就業率が町平均値より0.8<sup>ポイント</sup>低い。 (※要支援者は「収入のある仕事」の回答者がいません。)</li> <li>○一般高齢者で「心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人がいない」方が町平均値より0.3<sup>ポイント</sup>高い。</li> <li>○要支援者で「心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人がいない」方が町平均値より0.9<sup>ポイント</sup>高い。</li> <li>○要支援者で「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人がいない」方が町平均値より0.4<sup>ポイント</sup>高い。</li> </ul>
	地域において 支援できるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民(一般高齢者)が行う「調理」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」「サロンなど、通いの場のサポート」に関する支援割合は町平均値より低い。</li> <li>○地域住民(要支援者)が行う「掃除・洗濯」に関する支援割合は町平均値より低い。</li> </ul>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は町平均値より0.6 <sup>ポイント</sup> 高い。
	会食の頻度	○特に課題等は見当たりません。
公共交通の利用状況		○一般高齢者と要支援者ともに公共交通利用率が町平均値より2.7・2.3 <sup>ポイント</sup> 低い。
在宅介護の 実態と家族 介護者の状況	家族介護者の 介護離職状況	○特に課題等は見当たりません。
	介護離職者が 介護する 要介護者の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「要介護3以上」の割合が町全域より4.5<sup>ポイント</sup>高い。</li> <li>○「単身世帯」「夫婦のみ世帯」は町全域より4.6・13.7<sup>ポイント</sup>多い。</li> </ul>
	就労している 介護者の今後の 仕事と介護の両立	○仕事と介護の両立を「続けていくのは、難しい」方の割合は町平均値より6.7 <sup>ポイント</sup> 高い。
	家族介護者が 不安を感じる介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護離職者が行う身体介護では「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助(食べる時)」「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」「屋内での移乗・移動」「認知症状への対応」に不安を感じる割合が町平均値より高い。</li> <li>○継続就労者が行う身体介護では「入浴・洗身」「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」「衣服の着脱」「屋内での移乗・移動」「服薬」「認知症状への対応」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」に不安を感じる割合が町平均値より高い。</li> </ul>

		<p>○介護離職者が行う生活援助では「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」に不安を感じる割合が町平均値より高い。</p> <p>○継続就労者が行う生活援助では「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」に不安を感じる割合が町平均値より高い。</p>
	施設入所に関するニーズ	○特に課題等は見当たりません。